

和歌山リハビリテーション専門職大学

〔1〕教育の方針

I. 建学の精神

Live Longer Better

全ての人が生き活きと輝いて生きることを目指す！

II. 教育理念

現実の中に理想を追求する人材の育成

己に徹して、他人の為に生きる人材の育成

III. 教育の目的

明日の社会を視野に入れた新しいリハビリテーション医療教育の創造

リハビリテーションの専門的知識と技能、実践力、創造力を活か地域創成に貢献

新しいリハビリテーション医療の研究

〔2〕養成する人材像

健康科学部 リハビリテーション学科

理学療法学専攻

理学療法学専攻の養成する人材像は、「理学療法士として、高い倫理観と高度な専門知識と健康の増進及び運動機能の回復と疾病・障害の予防を推進する技術力を有し、それを発展させる創造力・応用力及び探求心を身につけ、多職種と連携・協調しながら地域社会に貢献できる人材」である。

作業療法学専攻

作業療法学専攻の養成する人材像は、「作業療法士として、高い倫理観と高度な専門知識と対象者の健康の増進、及び心身機能・生活行為能力の回復と幸福感の増進を作業に焦点を当てた治療・指導・援助ができる技能と実践力を有し、多職種と連携・協調して、創造的かつ応用的な取り組みで生きがいを支援し地域社会に貢献できる人材」である。

[3] アドミッション・ポリシー (AP)

健康科学部

- 1 本学の建学の理念を深く理解している人
- 2 本学を修了する為に必要な基礎学力を有する人
- 3 社会に共生する人間としての自覚を有し自律的に行動出来る人
- 4 他者を思いやる事が出来、他者と協調し協働できる人
- 5 地域に暮らしている人々の豊かな生活実現に向けて、強い目的意識と情熱を持ち続けられる人

リハビリテーション学科 理学療法学専攻

- 1 理学療法士を強く志し、建学の理念を理解している人
- 2 本学を修了する為に必要な基礎学力を有する人
- 3 社会に共生する人間としての自覚を有し自律的に行動出来る人
- 4 他者を思いやる事が出来、他者と協調し協働できる人
- 5 地域に暮らしている人々の豊かな生活実現に向けて、強い目的意識と情熱を持ち続けられる人

リハビリテーション学科 作業療法学専攻

- 1 作業療法士を強く志し、建学の理念を理解している人
- 2 本学を修了する為に必要な基礎学力を有する人
- 3 社会に共生する人間としての自覚を有し自律的に行動出来る人
- 4 他者を思いやる事が出来、他者と協調し協働できる人
- 5 地域に暮らしている人々の豊かな生活実現に向けて、強い目的意識と情熱を持ち続けられる人

〔4〕 カリキュラム・ポリシー

健康科学部 リハビリテーション学科

理学療法学専攻

- 1 理学療法士としての豊かな人間性と倫理観を育むため、幅広い知識と教養を養うための科目を配置する。
- 2 疾病等による身体障害やスポーツ障害の予防・回復と健康維持・増進に関する理学療法の専門的な知識と技術を身につけるための講義・演習・実習科目を設け、社会復帰や社会参加を目指す人々を支援する能力を修得するための科目を配置する。
- 3 理学療法士の知識・分析能力をさらに深化させ、他分野の知識等とも結びつけて新たなアイデアを生み、それらを活かして社会に貢献する高度な実践力と豊かな創造力を養うための科目を配置する。
- 4 理学療法による回復過程と効果および関連分野への応用の可能性を探求し、将来、教育及び研究の分野や起業・経営において指導的役割を担える基礎的能力を高めるための科目を配置する。
- 5 理学療法士として地域社会の課題に主体的に取り組み、地域住民の健康維持・増進や疾病や障害の予防における課題、地域社会のニーズなどを的確に把握し、多職種と連携して地域社会に貢献する力を養うための科目を配置する。

作業療法学専攻

- 1 医療、保健、福祉、教育、職業領域にかかわる作業療法士としての豊かな人間性と倫理観を育むため、幅広い教養を養う科目を配置する。
- 2 疾病と障害の理解、および作業とその応用、作業に焦点を当てた支援のための知識、技術を修得するための講義科目、演習科目を設け、修得した知識・技術を用いて実践する演習・実習科目を配置する。
- 3 疾病の予防から機能の回復、生きがいを持って生きることを支援するための作業と作業療法の知識・技術をさらに深め、その上で多職種との連携方法を学び、実践する科目を配置する。
- 4 対象者の作業療法による回復過程、作業の力、作業療法の守備範囲の拡大について検討、研究する力を高めることを目的とし、将来、教育、研究、起業等の分野で指導的役割を担うための基礎的能力を高める科目を配置する。
- 5 作業療法士として地域課題に積極的に取り組み、新たな課題に対応する方略・方法を検討する科目、および、地域社会の課題解決に向け、多職種と共同して実践するための科目を配置する。

[5] ディプロマ・ポリシー

健康科学部 リハビリテーション学科

理学療法学専攻

- 1 理学療法士として、豊かな人間性と高い倫理観を有し、幅広い一般教養を身につけていること。
- 2 保健医療福祉および関連分野の発展・向上に寄与する理学療法士として健康の増進及び運動機能の回復と疾病・障害の予防を実践する高度な専門知識・技能および実践力を身につけていること。
- 3 健康や医療・介護など関連分野の多職種と連携・協調し、理学療法の新たなサービスを創造できる柔軟な発想を有し、意欲的に取り組む能力を身につけていること。
- 4 理学療法および関連分野を生涯にわたって学び、創造的かつ応用的に取り組み、理学療法学を発展させる能力を身につけていること。
- 5 理学療法士として、地域社会への貢献を視野に入れ、多様なニーズに応える探究心や研究心を身につけていること。

作業療法学専攻

- 1 作業療法士としてふさわしい人間性と高い倫理観を有し、幅広い一般教養を身につけていること。
- 2 医療、保健、福祉、その他関連領域の発展・向上に寄与する作業療法士として、対象者の健康の増進、及び心身機能・生活行為能力の回復と幸福感の増進を、作業に基づいた治療・指導・援助できる高度な専門知識・技能および実践力を身につけていること。
- 3 医療、保健、福祉、その他関連領域の対象者の生き生きとした生活のために、意欲的かつ柔軟に取り組む力を身につけていること。さらに、そのために多職種と連携・協力することができること。
- 4 作業療法学を生涯にわたって学ぶとともに、関連分野の情報を積極的に収集し、発展させる姿勢と能力を身につけていること。
- 5 作業療法士として、地域社会への貢献を視野に入れ、多様なニーズに応える探求心や研究心を身につけていること。